

# 街を行く

第73回 宮崎 Miyagi

## 地方の原風景が資産

温暖な気候と豊かな自然、数多くの名所旧跡に恵まれた宮崎県。かつては“フェニックスハネムーン”と呼ばれ人気の新婚旅行先でした。いま旬な宮崎の注目観光地といえば、ユネスコエコパーク・照葉樹林都市綾町の「照葉大吊橋」です。

高さ142m長さ250m。ちょっと前まで日本一だったという長い橋を、実際目の前にすると少しビビります。恐る恐る橋を渡りはじめると、かなりビビってきます。通行人が動くだけで足下がグラグラ揺れてくるのですよ。渡っている途中で、ここまで来たことを後悔する、何とも過激な観光名所といえるでしょう。

綾町はむかしの田舎の原風景をそのまま残す街です。そこに佇んでいるだけで何だか気持ちがホッとして身体全体が癒されてきます。

実は宮崎を訪問する前に、九州在住の友達から「一度は訪ねてみるべき」と推薦されていたのが綾町でした。なんら派手さがない、手付かずの自然環境。これこそ綾町の魅力でした。“ウリ”を何にしようかと無理くりを考えなくても、観光資源そのものが昔からあったというわけです。

いま日本中の地方都市では、とにもかくにも街を興そうと無理して頑張ってきた結果、空回りばかりで街も人も疲労困憊したケースも多々みられます。こうした失敗から、街を起こすウリは創るという発想から、そこにある魅力に気づくという発想への転換が必要になってきているのかもしれない。街の観



どこにでもある地方都市宮崎の街の風景。長過ぎる吊り橋は揺れまくる



光資源を何にするか、頭の中では何一つ思い浮かばなくとも、周りを見渡せば溢れかえっていたということもままあるものです。

綾町は気候といい、町の雰囲気といい南国そのもの。沖縄でもなく長崎でもない異国情緒を感じるのには小生だけではないはず。

折角のエキゾチックな雰囲気を、日本全国どこにでもあるナショナルブランド店舗でぶちこわしてしまうのもったいない。他の地域とは違った、ご当地ならではの店舗をつくってみてはいかがでしょう。きっと面白いことになると思いますよ。

宮崎の食べ物の名物は鶏と牛。ふたつとも決して小生を裏切りませんでした。そして地元の焼酎はやはり良く合いますね。翌日の予定がフリーであれば、しこたま飲みたかったです。また次回来た時に飲み直します。

### 南 一弘



1982年大学卒業後、三井不動産販売に入社。ローンスター・ジャパン・アクイジションズを経て、2001年エートス・ジャパン・エルエルシーを設立。同代表に就任。2005年4月MID都市開発(旧松下興産)の代表取締役役に就任。2006年ジャパン・アセット・アドバイザーズを設立。同代表取締役役に就任。